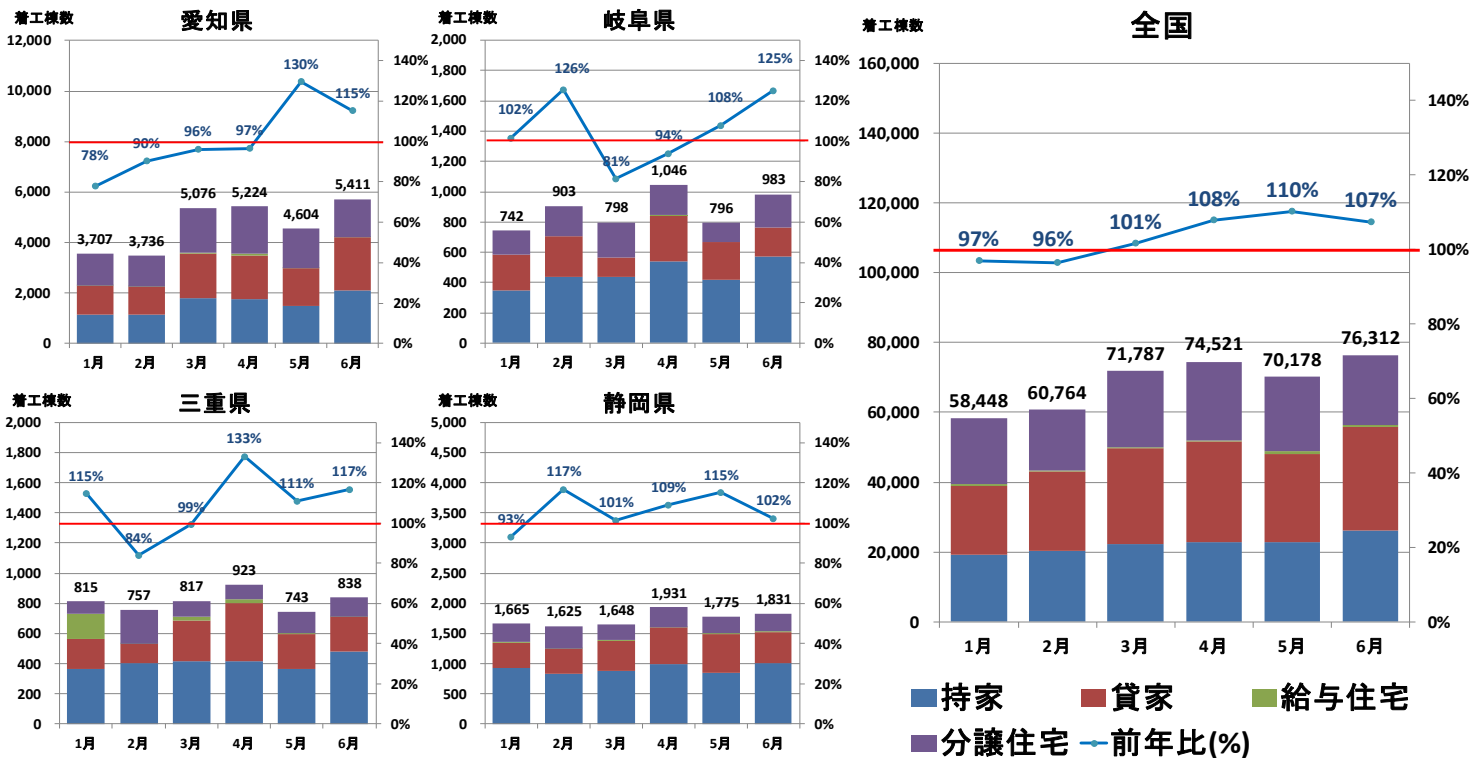


東海4県の着工推移



出典:着工データ 国土交通省

グリーン住宅ポイント制度の実施状況(令和3年7月末時点)

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ経済の回復を図るため、一定の省エネ性能を有する住宅の新築やリフォーム等に対して、商品や追加工事と交換できるポイントを付与する「グリーン住宅ポイント制度」について、令和3年7月末時点の実施状況が公表されました。

発行状況	令和3年7月		累 計	
新 築	16,150戸	62億1400万ポイント	22,936戸	89億9420万ポイント
既 存	74戸	2190万ポイント	103戸	3060万ポイント
リフォーム	7,541戸	7億2075.5万ポイント	8,959戸	8億6161.6万ポイント
賃 貸	189戸	1890万ポイント	189戸	1890万ポイント
合 計	23,954戸	69億7555万ポイント	32,187戸	99億531.6万ポイント

国交省が56都市の3Dモデルをオープンデータ化

国土交通省は8月6日、現実の都市をサイバー空間に再現する3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を進める「**Project PLATEAU(プラトール)**」において、全国56都市(面積約1万キロ平方メートル、建物約1,000万棟)すべてのオープンデータ化が完了したと発表しました。

同プロジェクトは、3D都市空間情報プラットフォームとして、実世界(フィジカル空間)の都市を仮想的な世界(サイバー空間)に再現する取り組みです。都市空間に存在する建物や街路といったオブジェクトに名称や用途、建設年といった都市活動情報を付与することで、都市空間そのものを再現することができ、さまざまな都市活動データが3D都市モデルに統合され、フィジカル空間とサイバー空間の高度な融合を実現することで、都市計画立案の高度化や、都市活動のシミュレーション、分析等が可能となります。

オープンデータは、(一社)社会基盤情報流通推進協議会が運用する「**G空間情報センター**」でダウンロードできます。政府標準利用規約、オープンライセンスが採用されており、クレジットを表記すれば、データの複製、再配布、加工、商用利用等が可能です。また、**PLATEAUウェブサイト**上ではデータ仕様を標準仕様書等のドキュメントとして公開しています。

同省は今後、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステムを構築し、スマートシティの社会実装をはじめ、まちづくりのDXを推進するため、先進技術を取り込んだユースケースの開発等に取り組むとともに、地方公共団体による3D都市モデルの整備を支援していくとしています。



「PLATEAU」は、国土交通省が進める3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化のリーディングプロジェクトである。都市活動のプラットフォームデータとして3D都市モデルを整備し、そのユースケースを創出。さらにこれをオープンデータとして公開することで、誰もが自由に都市のデータを引き出し、活用できるようになる。